



広報 ものづくり

『逆境こそチャンス』 一歩前に踏み出せ！！

最近、原油高に始まりアメリカでは証券大手リーマン・ブラザーズの経営破綻。国内では、各種偽装事件や事故米の流通また株価下落など、暗い話題や事件が多発し、景気に陰りが見えてきました。中小企業はその波を受け「仕事がない」「コストダウンを要求される」「売り上げが落ちている」など厳しい経営課題を抱えています。

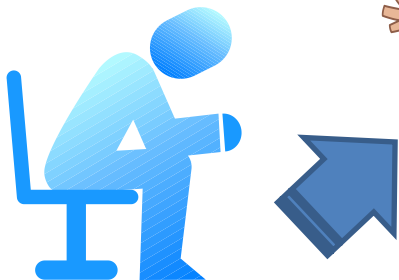
このような社会状況の中で「逆境こそチャンス」と考える経営者も少なくありません。事実、「困った時こそいいアイデアが生まれる」と自社の成長に向けて取り組む企業があります。

当支援室は、過去いろいろな逆境を克服した経験豊かなアドバイザーが多数登録されています。

ぜひこの機会に活用されてはいかがでしょうか？

お気軽にお声をお掛け下さい。

チャンスだ！



提案メニュー

- 1 不良品ゼロの現場
- 2 稼働率向上
- 3 物流・在庫削減
- 4 ムリ・ムラ・ムダの排除
- 5 費用削減 材料費
副資材
修繕費
省エネ

上記を全社的活動として取り組むと、人材育成にもつながる。

ピンチは

◇ 活動事例紹介

テーマ：新規機械の設置スペース捻出

目的：生産増量に伴い、新規機械を既存工場内に設置

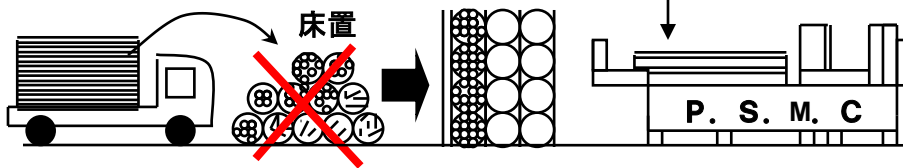
活動内容：①材料納入タイミングの調整リードタイム1/2化(10日⇒6日)
②保管方法の変更(床置⇒立体化 39㎡)
③材料の使い切り(端材ゼロ 200本⇒0本化)
④機械レイアウト見直し

支援活動

活動年度 平成19年
活動企業 (有)森製作所
活動支援 門平SA

①
10日⇒6日

② 立体化 ③ 端材のゼロ化 ④ レイアウト



成果：スペース39㎡の捻出が100%達成できた。(活動3ヶ月7回)

社長のコメント：ムダ取りを徹底することにより、現有スペースで増量対応ができた。アドバイザーによる的確な切口、攻め口を体感し、効果に結びつけた。



◇ 用語解説

管理とは

今や全ての業界で、お客様の立場に立った管理が求められています。

特に製造現場では、「生産データ」「品質データ」は誰にでもわかるようにすることが大切、社内の仕組みを整え、作業員一人ひとりが出来高や品質データを正しく記録し製品を保証する体質づくりと工程改善活動が最も大切なこととなっています。

管理(データ集め)を行うと工数が増加すると思われそうですが、管理を徹底すれば必ず効率が向上し、利益が出る体質に生まれ変わります。今一度管理を見直してはいかがでしょうか？



本来この3つの段階を言いますが、最近ではこれに、『処置/対策』が加わり、管理サークルPDCAを廻すと言います。

◇ おしらせ

支援室のホームページ是非ご覧ください

鈴鹿市のホームページから > 行政ガイド >
事業所向け案内 > 支援制度 >

ものづくり動く支援室 に進んでご覧ください。

掲載内容 ■制度概要 ■体制 ■申請
■広報「ものづくり」 ■事例紹介
■相談フォーム ■アクセス

【発行】

鈴鹿市産業振興部 産業政策課

鈴鹿市ものづくり動く支援室

〒513-8701

鈴鹿市神戸一丁目18番18号(別館第三)

TEL 059-382-7011 FAX 059-384-0868

E-mail: sangyoseisaku@city.suzuka.lg.jp